

アフリカの地で多くの命を救った郷土の誇り 故・谷垣 雄三 氏（峰山町出身）を 京丹後市名誉市民として顕彰します

令和 6 年 10 月 17 日

京 丹 後 市 役 所

本市峰山町出身の故・谷垣 雄三氏は、遠く、アフリカ・ニジェールの地に延べ 36 年間滞在し、貧しい地方で援助に頼らない自立した医療体制をつくるため、独自の医療構想を打ち出し、私財を投じて 2 度にわたる医療施設建設なども行いながら、厳しい医療環境の中で延べ 1 万 2 千回を超える手術を行うなど、「ニジェールの野口英世」と呼ぶ人さえいる（※）ような、ニジェールでの医療活動、医療体制の確立に生涯を捧げ多大な貢献をされました。

（※）シチズン・オブ・ザ・イヤー賞評価より

この度、名誉市民選考委員会から推挙を受け、10 月臨時会での同意を得ましたので、11 月 3 日（日）、京丹後市市制 20 周年記念式典にて、故・谷垣雄三氏に「京丹後市名誉市民」の称号を贈り顕彰します。

【参考：京丹後市名誉市民条例（抜粋）】

（称号の授与）

第 2 条 市長は、市民又は市に縁故の深い者で、公共の福祉の増進、学術、技芸その他広く産業経済又は社会文化の振興発展に貢献し、その功績が卓絶で郷土の誇りとする者に対して、京丹後市名誉市民（以下「名誉市民」という。）の称号を贈る。

（選定）

第 3 条 名誉市民は、市長の委嘱する選考委員会の推挙を得て市議会の議決により選定する。

京丹後市名誉市民条例（平成 19 年 3 月制定）施行により、旧町からの名誉町民を引き継いでいますが、条例施行後の名誉市民の選定は 2 人目（1 人目は故・野村克也氏）となります。

【問合せ先】 京丹後市 市長公室 秘書広報広聴課 秘書係
電話：0772-69-0110 F A X：0772-69-0901

（略歴）

西暦	和暦	出来事
1941 年	昭和 16 年	峰山町で生まれる。 その後峰山小学校、峰山中学校、峰山高等学校を卒業。
1961 年	昭和 36 年	信州大学医学部入学
1967 年	昭和 42 年	信州大学医学部卒業
1979 年	昭和 54 年	国内の病院で医師として勤務した後、I R S A（ウラン鉱試掘調査）の嘱託医としてニジェールに渡る。
1980 年	昭和 55 年	ニジェールから帰国後数年間、フランス語を学びながら東京都内の病院に勤務。
1982 年	昭和 57 年	再度ニジェール行きを希望し、J I C A（国際協力機構）から医療専門家としてニジェールに派遣される。首都ニアメの国立病院の外科医として赴任。静子夫人も同行。
1992 年	平成 4 年	「地方住民への外科医療を充実させるために地方に外科施設が必要」とニジェール政府へ提案。国土中央のテッサワに、自費で外科診療所「パイロットセンター」（試験的病院）を建設。援助に頼らない自立した医療活動に乗り出す。
2001 年	平成 13 年	J I C A 派遣の任期が終了、自費で活動を継続。
		N P O アジア・アフリカにおける医学教育支援機構、横浜港北ロータリークラブ、出身地峰山町などの間に谷垣医師支援の輪が広がる。
2002 年	平成 14 年	旧パイロットセンターを撤収。 再度、テッサワに自費で新パイロットセンターを建設。
2002 年	平成 14 年	丹後地方在住の同級生ら 20 人で「谷垣雄三医師を支援する会」（以下「支援する会」）が発足される。以降、地元支援の取組が展開される。
2002 年以降	平成 14 年以降	峰山小学校、長岡小学校、峰山中学校、峰山高校で、手術で使用するタオルを集めて送る支援が行われる。
2004 年	平成 16 年	テッサワのパイロットセンターに、地元からの支援への感謝の印として「峰山門」を設置。
		支援する会が、アフリカと丹後を結ぶ「友情の記念碑」を峰山総合公園入口に建立。
2007 年	平成 19 年	京丹後市に帰郷。支援する会をはじめ、支援協力した学校や市役所を訪問し、感謝の言葉を伝える。
		住民負担の地方外科を確立する目的を達成。これまで取り組んだ成果をまとめ、フランス語で提言書を作成、発表会をニアメで開く。
2017 年	平成 29 年	ニジェール・テッサワにて永眠（享年満 75 歳）。
2019 年	令和元年	パイロットセンターが「ユウゾウ・タニガキ県病院」に生まれ変わり、テッサワ地方の基幹的な機能を持つ総合病院となる。
2020 年	令和 2 年	静子夫人と住んでいたテッサワの住居は「マダム・シズコ保健センター」に生まれ変わり、産院があり、母親が安心して出産し、母と子の命と健康を守る施設となる。

※出展：「外科医 谷垣雄三物語」（川本晴夫）

「Dr. タニ ひとつぶの麦」（おぎのしんさく）

新聞報道記事（京都新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞）

(主な受賞歴)

1994年（平成 6年）	読売国際医療功労賞
2008年（平成20年）	シチズン・オブ・ザ・イヤー賞
2009年（平成21年）	読売国際協力賞
2010年（平成22年）	京都オムロン・ヒューマン賞
2010年（平成22年）	公益財団法人社会貢献賞

(谷垣氏顕彰に関する最近の動き)

2022年（令和4年）5月	外科医 谷垣雄三物語（川本晴夫）出版
2023年（令和5年）5月	谷垣雄三医師夫妻顕彰展（京丹後ロータリークラブ 主催）開催
2024年（令和6年）7月	D r . タニ ひとつぶの麦（おぎのしんさく）出版

※ 選考委員会における推挙：令和6年9月24日（火）

※ 臨時会での同意：令和6年10月17日（木）